

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生を対象に実施された『全国学力・学習状況調査』ですが、札幌市教育委員会より調査結果の概要が公表されております。本校におきましても、結果や課題、改善の方向等がまとまりましたので、お知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

【教科に関する調査】について

小学校 国語	本校の概要（正答率における全国との比較） 【内容】 ☐ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ☐ 「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ☐ 「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均を上回っている。 ☐ 「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ☐ 「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ☐ 「読むこと」 ・全国平均を上回っている。	今回の調査における課題 ●目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	改善の方向 ○目的や意図に応じて、書いた文章を他者と読み合い、事実と自分の考えとを区別して書いているか、取り上げた事実が適切であることを確かめる学習活動の充実。 ○目的や意図に応じて資料の順番を変えたり、適切な時間や機会での資料の提示の仕方について検討したりする時間を設け、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる学習活動の充実。
	本校の概要（正答率における全国との比較） 【領域】 ☐ 「数と計算」 ・全国平均を上回っている。 ☐ 「図形」 ・全国平均を上回っている。 ☐ 「変化と関係」 ・全国平均を上回っている。 ☐ 「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	今回の調査における課題 ●簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること。 ●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できること。	改善の方向 ○簡単な二次元の表や折れ線グラフの読み取り方を説明し合う学習活動の充実。



【児童質問紙調査】について

学習習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての児童質問紙調査も行われました。70以上の項目に渡って行われたことから、ここでは全国平均と比較して特徴的だと思われる項目を中心にお知らせいたします。

【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】

- ◇学校に行くのは楽しいと思いますか
- ◇普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- ◇携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ◇あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）
※101冊以上の全国比
- ◇5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

- ◆国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか
- ◆算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか
- ◆朝食を毎日食べていますか

【スマートフォン等の使用、ゲーム時間に関する全国との比較】※機器を持っている児童の回答の割合から

- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
⇒「2時間以上、3時間より少ない」と回答している割合が最も高く、全国比と比べると5.3ポイント高い結果になっています。
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
⇒スマートフォン等の視聴については「4時間以上（使用）」と回答している児童の割合が全国比よりも4.3ポイント高い結果になっています。



《今後の方向》

肯定的な回答の項目については今後も伸ばしていけるように子どもたちに指導していきます。肯定的な回答の割合が低い回答の項目については、授業改善を図るなど工夫して取り組んで参りたいと思います。

ご家庭でも、学習や生活への関わりや励ましなどを、引き続きよろしくお願いいたします。

今回の調査結果から明らかになったことは、6年生だけではなく、学校全体の課題として捉え、今後の改善の方向に向けて、指導の充実を図って参ります。